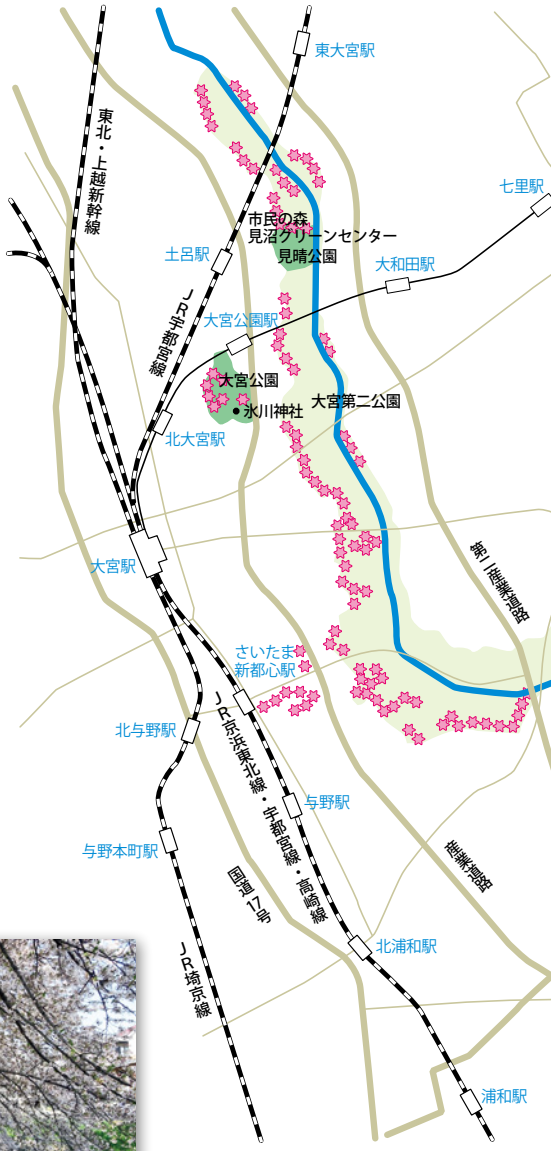
ぶぎんのあるまち

シリーズ第15回 さいたま市

見沼田んぼの桜回廊

さいたま市の見沼区東大宮から緑区東浦和間を流れる見沼代用水沿いには、数多くの桜が植えられ（2019年現在1,984本）、総延長が20㎞を超える「桜の下を歩ける桜回廊」として日本一の長さを誇ります。

ソメイヨシノを中心に開花時期を長く楽しめるよう、エドヒガンザクラやミヤビザクラ、ヤマザクラなど、多種の桜が植樹されています。



目指せ日本一！サクラサク見沼田んぼプロジェクト

見沼代用水沿いには、これまでにも団体や市民による桜の植樹が行われ、見事に咲き誇る桜回廊が約18.2㎞もありました。その運動を継続し、さらに植樹をすることで総延長20㎞を超える日本一の桜回廊を目指すため、2013年度にスタートしたのがこのプロジェクトです。桜の植樹は、市民、団体、企業などからの寄付で行われ、2017年3月、見沼代用水西縁、東縁、見沼通船堀に連なる桜回廊の総延長は20㎞を超え、桜の下を散策できる日本一の桜回廊となりました。

市民の森・見沼グリーンセンター周辺

見沼緑道にはプロジェクトで植樹したミヤビサクラなどがあります

▶市民の森・見沼グリーンセンター

見沼たんぼの北部に位置し、豊かな自然に囲まれています。放し飼いのしまりすを見ることができる「りすの家」、地元の野菜を販売している「見沼グリーンセンター」もあります。

▶見晴公園

公園のシンボルである風車と小高い丘があり、その名前の通り見晴らしのいい公園。春には風車を望みながら桜や菜の花 の景観を楽しむことができます。

▶大宮第二公園

治水対策として造られた第七調節池を 中心に整備された公園。県内有数の梅の名所としても知られています。

見沼区加田屋、見沼自然公園周辺

どこまでも続く桜回廊と美しい田園風景を一緒に見ることができます

▶さぎ山記念公園

250 年の歴史を閉じた野田のさぎ山を記念してつくられた公園です。園内には、さぎ山記念館があり、緑に映える美しいサギの姿を思い起こさせます。

▶見沼自然公園

東京ドームの面積の約 2.3 倍もある、とっても広い公園です。園内の池ではスイレンなどの水生植物や、水鳥など水辺の生き物の観察も楽しめます。

▶旧坂東家住宅見沼くらしっく館

市指定文化財「旧坂東家住宅」を当初の位置に解体復原した博物館です。生きている民家をテーマに、季節行事の再現、さまざまな展示やイベントなどを行っています。

緑区見沼代用水東縁周辺

▶浦和くらしの博物館民家園

市内最古の民家といわれる「旧蓮見家住宅」など市内の伝統的な建造物を 7 棟移築復元した野外博物館です。

▶大崎公園

家族連れでのんびり過ごせる芝生広場 や小動物と水鳥中心の子供動物園があります。また、園芸植物園も隣接しており、様々な過ごし方で楽しめます。

東浦和駅・見沼代用水西縁周辺

見沼田んぼ桜の回廊の中でも、駅からとてもアクセスしやすいエリアです。緑区大牧周辺は見沼代用水西縁の両岸から見事な桜が咲き誇ります

▶見沼通船堀

この地域から江戸に米や産物を運ぶため、見沼代用水東縁、西縁、芝川 を繋いだ運河。

▶見沼氷川公園

園内にあるハーブ園には、ラベンダーやミントなどのハーブが植えられています。この付近は唱歌「案山子」の発祥地といわれ、記念のモニュメントも設置されています。

▶氷川女體神社

建立は奈良時代とされ、一説によると、大宮の氷川神社、見沼区中川にある中山神社と一直線上にあり、3 社を合わせて武蔵国一宮とされていたとも。